

筑波大学附属特別支援学校現職教員研修〈実践型実習〉

令和8年度現職教員研修 中間報告会

(専門性向上研修・1年)

9月25日、附属桐が丘特別支援学校で、現職教員研修生の山口晋先生（北海道真駒内養護学校）の中間報告会を行いました。

山口先生は「肢体不自由教育の専門性向上に向けた組織的な校内体制の構築について」をテーマに、研修を進められています。今回の報告会では、このテーマに取り組むことになった背景や、附属桐が丘特別支援学校でのケース会（学年の教員たちで集まり、児童生徒の実態把握と目標や手だて・配慮について検討する会）への参加を通して、当校のケース会を受けての授業づくりの仕組みを、所属校でどのように活用していくかについて発表されました。また、1学期の授業実践をもとに、児童生徒の実態把握から、それを授業づくりにつなげるまでの流れの「モデルケース」を提案されました。このモデルケースは、所属校で実践できる内容であることを考慮しながら作成されています。

山口先生から「さまざまな立場の先生方の意見を聞きたい」という希望があり、発表後、参加した先生方から多くの意見や感想が寄せられました。活発な意見交換が行われ、提案されたモデルケースをさらに良いものにするための貴重な機会となりました。

今後は、中間報告会で提案されたモデルケースをもとに、授業実践を行う予定です。授業実践を通して成果や課題を確認しながら、成果報告会につなげていきます。



中間報告会での様子



山口先生の発表



参加した先生の質問に答える山口先生



斎藤校長からもたくさんの意見をもらいました